

赤門だより

vol. 72



赤門整形外科内科 外来スケジュールのお知らせ

(2026年4月現在)

- 診療時間 月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00 日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)
- 土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
- 休診日
- リハビリテーション 月～金 8:30～19:00 月～金 8:30～18:00
- 土曜日 8:30～17:00 土曜日 8:30～17:00
- 外来受付時間

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
AM	整形外科	宮川 慶	田中 将	宮川 慶	宮川 慶	宮川 慶	田代 奨 新行内龍太郎
	内科	本間 裕一郎 (呼吸器内科)	木村 愛 (腎臓・一般内科)	亀田 俊吾 (循環器内科)		石丸 光彦 (腎臓・一般内科)	木村 愛 (腎臓・一般内科)
PM	整形外科	宮川 慶	田中 将	宮川 慶	宮川 慶	宮川 慶 橋本 亮 (脊椎脊髄外来) 中山 陽介 (脊椎脊髄外来)	田代 奨 新行内龍太郎
	内科	本間 裕一郎 (呼吸器内科)	木村 愛 (腎臓・一般内科)	亀田 俊吾 (循環器内科)	田邊 昌人 (循環器内科)	石丸 光彦 (腎臓・一般内科)	木村 愛 (腎臓・一般内科)

※橋本 亮先生の外来は、毎月第2金曜日の午後となります。
 ※中山 陽介先生の外来は、毎月第4金曜日の午後となります。
 ※田代 奨先生の外来は、毎月第1・第3土曜日となります。
 ※新行内 龍太郎先生の外来は、毎月第2・第4土曜日となります。
 ○都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。
 ○外来担当医の詳細は窓口へのお問い合わせ、
 またはホームページにてご確認ください。



最新の外来予定表はこちらのQRコードからご確認ください。

救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・被爆者一般疾病医療機関・公害・難病指定医・身体障害者福祉法指定医・難病指定医療機関・認知症サポート医

医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

- 赤門整形外科内科**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836
- 介護老人保健施設 なのはな館 みさき**
〒294-0303 千葉県館山市浜田 110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777
- サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ**
〒294-0045 千葉県館山市北条 2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701
- なのはな訪問看護ステーション**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117
- ホームヘルプサービスなのはな**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

- 館山市地域包括支援センターなのはな**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351
- 館山市地域包括支援センターいちご**
〒294-0043 千葉県館山市安布里 237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116
- 館山市認知症初期集中支援チームおれんじ**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302
- 赤門ケアプランセンター**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-2,1 階
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160
- 赤門統括センター**
〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-2,2 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

特集 赤門看護師勤続 50 周年のあゆみ

勤続50年！田中看護師

赤門整形外科内科

看護師 田中 良美



○入職したきっかけ

当時、高校の担任の先生の勧めで入職させて頂きました。

○入職したころの様子

入職した当時は赤門鈴木病院で、建物は木造建物で、院長は鈴木勝院長でした。患者様思いのやさしい先生でしたが、初めての接するの緊張していた事を覚えていません。

初めの2年間は館山看護学校に通いながら働いていました。朝バスで出勤し昼部屋の更衣室で白衣に着替え、迷路のような廊下を抜け冬は火鉢のある診察室に行きました。受付は紙で綴ってある処方箋に受付番号、患者様のお名前を記入し、五十音順にしまつてある木製のカルテ棚から紙カルテへ挟んで診察室に並べました。昼食は院長の奥様（鈴木春子様）の手作りの美味しうご飯を頂き、バスで学校に行き夕方終わると自宅に帰りました。

○日々の診療の中で心がけていること

患者様の思いを考えることです。相手の事を考え不快な思いはさせない様に心掛けています。



社員旅行 2列目左2人目：鈴木勝院長
2列目右1人目：田中看護師

○これまで働き続けられた理由

先生方をはじめ、スタッフのみんながいたから続けられました。周囲のスタッフの協力があり辛い時はもちろん楽しい事も分かち合っています。また、家族の協力もあり助けられています。

○これまでで1番印象に残っている出来事

中々一つには決められませんね。夜勤明けに、交通事故で5人救急受け入れたので来て欲しいと呼び出しがあったなあ。でもやはり、苦痛表情で来院された患者様が次に来院された時に痛みがやわらぎ笑顔が見られることが一番うれしいです。



宮川準院長を囲んで
中央：宮川準院長
左1人目：田中看護師

○今後の目標や挑戦してみたいこと

日々元気に楽しく、感謝を忘れず過ごしていきたい。今後、ずっとやってみたいかったスキューバダイビングに挑戦してみたいですね。

○勤続50年を迎えて何かメッセージ

50年と聞くととても長い月日ですが、本当に今日まであっという間でした。しかし鈴木勝先生を初め宮川準先生、田中耕一先生、そして現在の宮川慶先生と一緒に働いている事が長さを物語っていますね。辛いこともあったけど楽しい事も沢山ありました。感謝です。

理事長手記

医療法人社団 慶勝会

理事長 宮川 慶



〈50年のあゆみ〉

今年度で、赤門整形外科内科看護師の田中良美さんが勤続50年を迎えました。田中さんの素晴らしい功績に敬意を表するとともに、田中さんと共に歩んでこられたご家族へ心より感謝申し上げます。昭和51年、田中さんが18歳のときに入職された当時は私の祖父である鈴木勝先生が院長の下、産婦人科の「赤門鈴木医院」としてこの地に根付いていました。今でも外来で「私は赤門で生まれました」と教えて下さる患者様がいらつしやると、田中さんと昔話に花を咲かせることがあります。



当時の赤門鈴木医院

昭和63年に現在の建物へ新築し「赤門整形外科内科」へ生まれ変わり、院長も先代の宮川準、現在の私へと引き継がれて参りました。この50年間、田中さんはいつも変わらない笑顔で太陽のように赤門を照らし続けてくださっています。

〈匠の技〉

患者様の目を見ながらお話をよく聞き、患者様の表情の変化は見逃さず、医師へその様子をそつと伝えてくださいます。勤務中は常に集中して周囲に目を配り、困っている患者様やスタッフがいれば迅速に駆けつけます。手術の際には手術室ナースとしても立ち振る舞います。患者様の容態の変化を観ながら、不安そうな方であれば声掛けを怠らず、患者様の心身の負担を最小限に留めてしまうその看護技術は匠の技です。我々慶勝会のスタッフは田中さんから学ぶべきことが沢山あると思っています。

〈地域の方に寄り添い〉

50年間田中さんが地域の方に寄り添い、スタッフ達を大切にしながら歩んできた

道は、我々全員が目指していく道だと感じています。組織の長として、田中さんのようなスタッフをこれからも育てられるように、より良い現場を作る使命があります。そのためにも田中さんにはまだまだ現場で頑張ってください、後進の育成にも一助をいただきたいと思っています。

改めまして、田中さんの50年間に心より感謝申し上げます。お身体に気を付けてこれからも一緒に頑張っていきましょう。



サプライズで田中看護師をお祝い
左：宮川慶理事長 右：田中看護師

医療法人社団慶勝会広報誌「赤門だより」2026年4月号より定期発行再開いたします。年3回（4月・8月・12月）発行予定
次号は2026年8月号「訪問看護特集」を予定しています。